

ボランティア伝言板

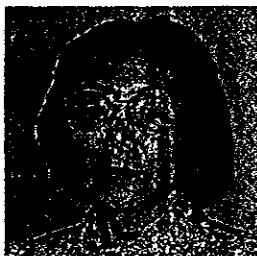
シリーズ4・ホスピス編

いのちを見つめる安らぎの場を

家庭的なムードの中で今を生きていただく

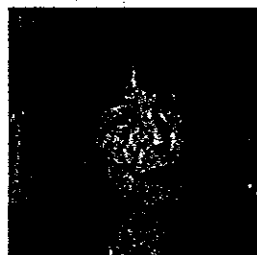
埼玉県ライオンボランティアセンターボランティアコーディネーター 北川輝子さん(63歳)

三年前、日本で初めて、病院から独立したホスピス「ピースハウス」が誕生しました。広い老生に囲まれたこの一軒家で、私たちはさまざまな人々との出会いと別れを体験してきました。ホスピスケアでは、肉体的な痛みだけでなく、患者さんの不安や焦りを和らげて差しあげるのがとても大事なことです。ボランティアがベッドサイドでお話に相手になったり、タイムムでは手すりのお菓子をにお出して、患者さん同士が人生について語り合える安らぎの場を提供しています。また、日本財団の支援でリフト付き乗用車を購入し、お花見などに利用しています。家庭的な雰囲気の中で、静寂を持って「今」を生きていただくことが私たちの願いです。



電話相談で心の悩みに答える

広島・ホスピスケアをすすめる会 代表 石口房子さん(44歳)



広島市には、まだホスピスケアを専門に行う施設がありません。私たちは、ホスピスケアについて気軽に相談できる窓口として、患者さんやそのご家族からの電話相談を受け付けています。昨年からは毎月第二、第四土曜日、看護婦や保健婦、心理療法士などが、治療内容や精神的悩みにについてお受けしています。同時に、ホスピスボランティアの育成にも取り組み、今年はボランティア養成講座に日本財団の支援をいただきました。患者さんは、白衣を着た医師や看護婦ではなく、同じ地域社会に生きるボランティアの方々に正直な気持ちを訴えることもあるのです。私たちは、そうした患者さんの思いを包み込めるボランティアを目指しています。

日本財団はボランティア活動を応援しています

福祉をはじめ、環境・自然保護など、日々さまざまなボランティア活動に懸命に取り組むボランティア・グループの皆様の力になりたい。ボランティア活動にエールを送ることで、心の通うあたたかい社会づくりのお役に立ちたい。私たちの「ボランティア活動支援事業」は、その願いからスタートしました。



財団法人 日本財団
The Nippon Foundation
財団法人 船舶振興会の通称です
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

——いつでもお問い合わせください——

ボランティア支援部協力援助課
〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル)

FAX03-3580-6215

モーターボート競走の収益金の一部はボランティア活動支援事業にも役立てられています。